

2019年度 計画のあらまし

2019年6月27日

ジーエルサイエンス株式会社

- 1. ジーエルサイエンスとは - ABOUT US -**
- 2. 2019年3月期(第52期)実績**
- 3. 中期経営計画(第52期～第54期)**
- 4. 2020年3月期(第53期)の取組**

1. ジーエルサイエンスとは

- ABOUT US -

A top-down view of a diverse group of approximately 15 people of various ages and ethnicities holding hands in a circle on a light grey floor. The people are dressed in casual to business-casual attire. The text is centered within the circle.

ジールサイエンスとは
ABOUT US

GL Sciences

海でも、山でも、あなたの街でも。

ジールサイエンスとあなたの暮らしには
ちょっと”ステキな関係”があるのです。

ジーエルサイエンスと
ちょっとステキな関係

ジーエルサイエンスと

“ 水 ”
WATER



▽

ジーエルサイエンスと


“ 食べ物 ”
FOOD



▽

ジーエルサイエンスと

“ 薬 ”
DRUG



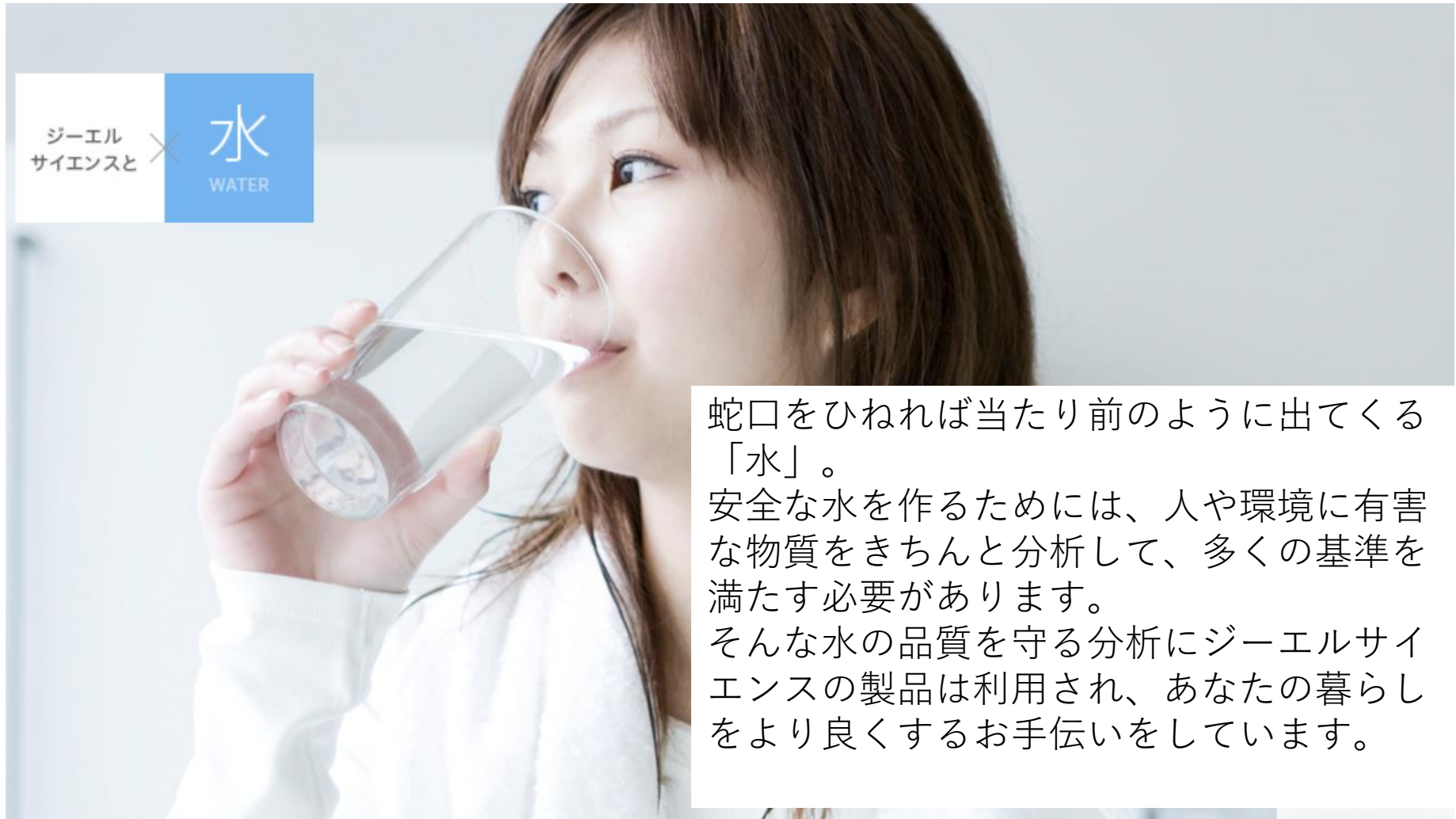
▽

ジーエルサイエンスと

“ 空気 ”
AIR



▽



蛇口をひねれば当たり前のように出てくる「水」。

安全な水を作るためには、人や環境に有害な物質をきちんと分析して、多くの基準を満たす必要があります。

そんな水の品質を守る分析にジーエルサイエンスの製品は利用され、あなたの暮らしをより良くするお手伝いをしています。

ジーエル
サイエンスと

× 食べ物
FOOD

毎日、誰もが口にする「食べ物」。
あなたと家族が安心して美味しく食事をする
ために、食品やその原材料について、栄養成
分、残留農薬、かび、香りなどの分析が行わ
れています。そんな食の安全を守る分析にジ
ーエルサイエンスの技術は利用され、あなた
のあたたかい食卓を支えています。



ジーエル
サイエンスと

薬
DRUG

様々な場面であなただけを助けてくれる「薬」。
副作用のリスクを減らし、安心して薬を使うためには、しっかりと成分を分析することが必要不可欠です。そんな人を守るための分析にジーエルサイエンスの製品は利用されています。小さな薬が持っている人を想う気持ち、ジーエルサイエンスも同じ気持ちであなたとつながっています。

ジーエル
サイエンスと

× 空気
AIR

あなたが今吸い込んだ「空気」。
部屋や車内の空気、街の排気ガス、
工場から出る燃焼ガス、光化学ス
モッグ、PM2.5・・・。
様々な場所の空気を整えるために、
多くの規制があり、そのための分析
法があります。
そんなデリケートな空気を守るため
の分析にジーエルサイエンスのノウ
ハウは利用され、あなたの空気をき
れいに保つお手伝いをしています。



「水」、 「食べ物」、 「薬」、 「空気」、

これはほんの一例。

あなたの周りにある、意外と身近な「分析」。

ジーエルサイエンスは、様々なシーンで、あなたとのちょっと“ステキな関係”を築いています。

私たちは、1968年に創業して以来、

「分析」に関わる多くの製品と技術を提供することで、

「分析」に携わる企業や研究機関をサポートしてきました。

そして、

ジーエルサイエンスはこれからも、

「分析」というソリューションを用い、

安心、安全な世の中を実現するために、

皆様と共に考え、皆様と共に歩む企業を目指します。



日本から世界へ。

今日もあなたとジーエルサイエンスの

“ステキな関係”は広がり続けます。

1. 2019年3月期(第52期) 決算実績

連結実績

2019年3月期 連結決算概要

経常利益は過去最高を更新。
売上高は2年連続、過去最高を更新。

BS

- 資産は 2,597百万円増加の 32,080百万円
- 負債は 798百万円増加の 8,590百万円
- 純資産は 1,799百万円増加の 23,489百万円
- 自己資本比率 63.6%

PL

- 営業利益率は12.1%を達成し、高収益性を確保
- 分析事業は増収増益
- 半導体事業は大幅な増収増益
- 自動認識事業はほぼ横ばい

CF

- 営業CF 338百万円プラスの 2,088百万円
- 投資CF 501百万円プラスの ▲1,218百万円
- 財務CF 148百万円マイナスの ▲315百万円

2019年3月期 連結業績



2019年3月期連結計画は達成

(単位:百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	前年比	前年差
売上高	22,938	24,800	+8.1%	+1,861
営業利益	2,418	2,988	+23.6%	+570
営業利益率	10.5%	12.1%	-	+1.5pt
税引前利益	2,663	3,423	+28.5%	+759
当期純利益	2,046	2,406	+17.6%	+360
親会社株主に帰属する当期純利益	1,747	2,006	+14.8%	+259
EPS(円)	170.28	195.54	+14.8%	+25.26
ROE(%)	9.7%	10.2%	-	+0.5pt

平均為替レート	米ドル	110.70円	111.07円	-	+0.37円
	ユーロ	130.25円	128.26円	-	▲1.99円

EPS : 1株当たり当期純利益(円)

(単位:百万円)

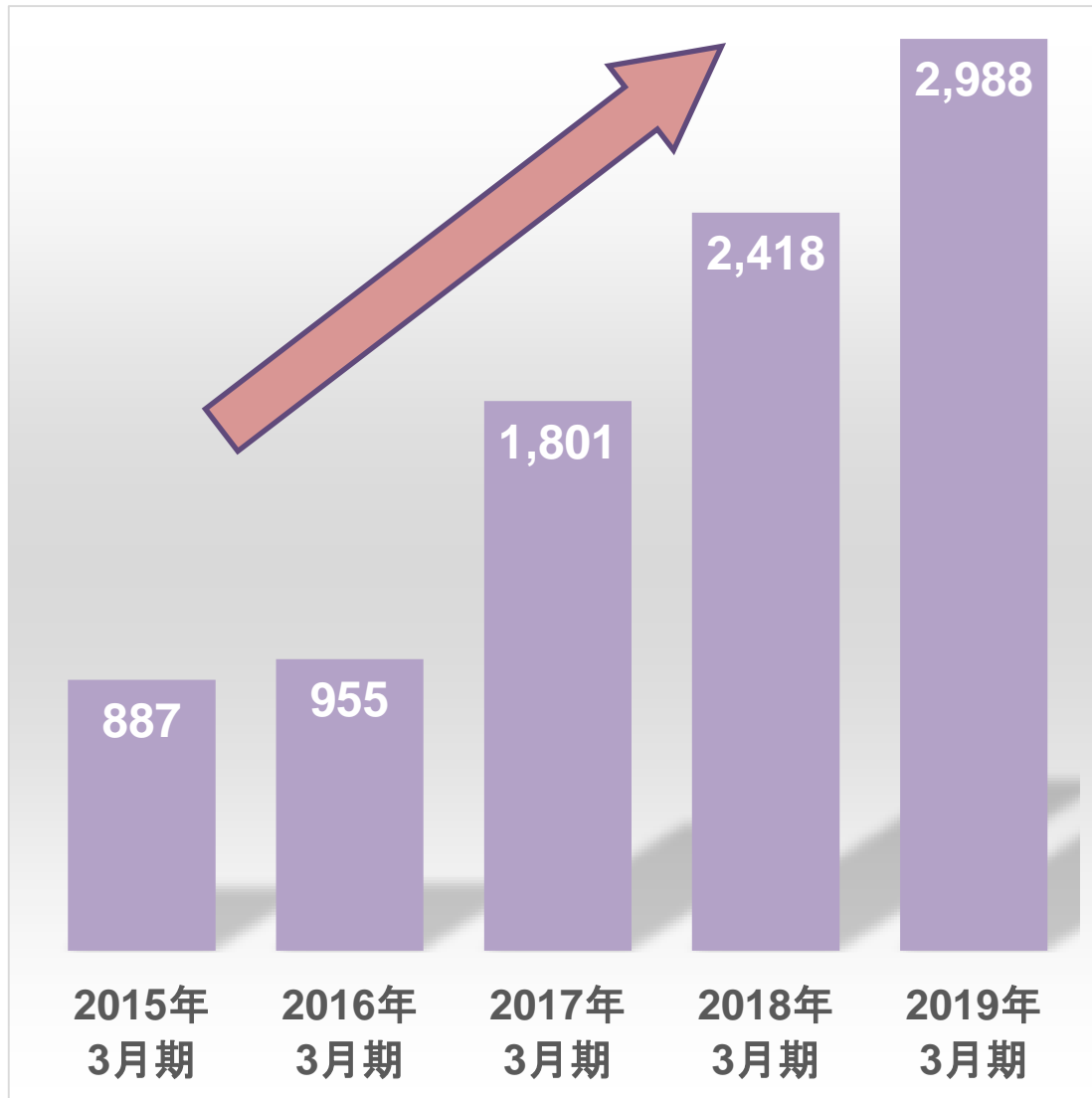


連結売上高

前年同期比 **8.1%**増

半導体事業の大幅な伸びが、全体の売上高の伸びを牽引

(単位: 百万円)



連結営業利益

前年同期比 **23.6%**増

半導体事業の大幅な伸びが、
全体の営業利益の
伸びを牽引

2019年3月期 セグメント別業績

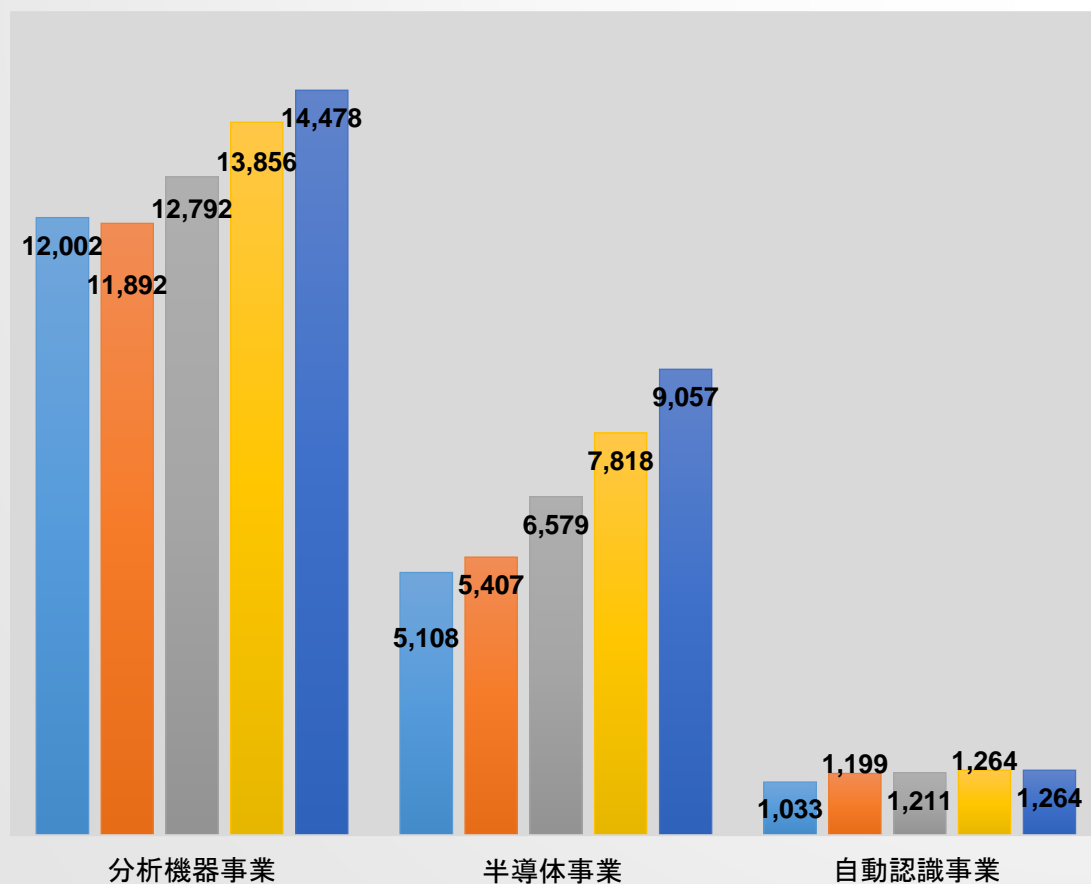


(単位: 百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	前年比	前年差
分析機器事業				
売上高	13,856	14,478	+4.5%	+622
営業利益	1,254	1,296	+3.4%	+42
半導体事業				
売上高	7,818	9,057	+15.8%	+1,238
営業利益	1,131	1,648	+45.7%	+516
自動認識事業				
売上高	1,264	1,264	0.0%	0
営業利益	33	40	+18.9%	+6
連結				
売上高	22,938	24,800	+8.1%	+1,861
営業利益	2,418	2,988	+23.6%	+570

連結 セグメント別売上高

(単位: 百万円)



分析機器事業

前年同期比 **4.5%増**

半導体事業

前年同期比 **15.8%増**

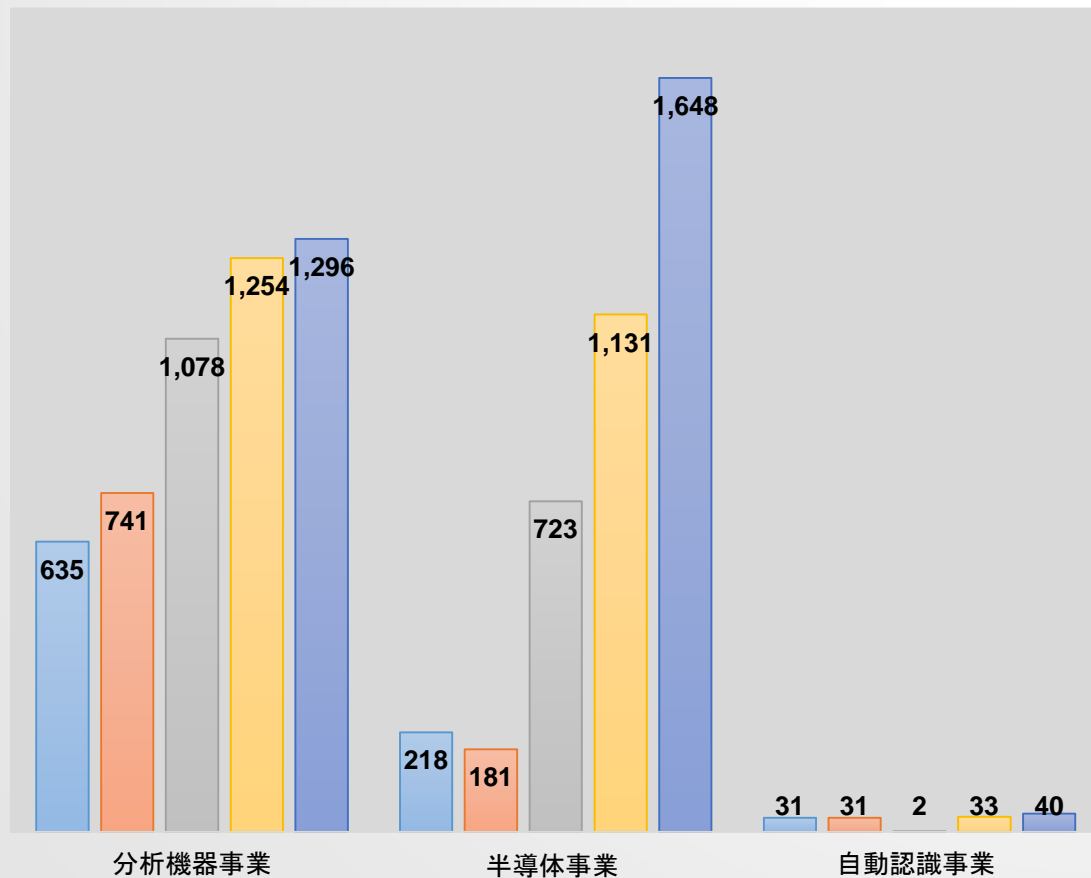
自動認識事業

前年同期比 **0.0%**

■ 2015年 3月期 ■ 2016年 3月期 ■ 2017年 3月期 ■ 2018年 3月期 ■ 2019年 3月期

連結 セグメント別営業利益

(単位:百万円)



分析機器事業

前年同期比 **3.4%増**

半導体事業

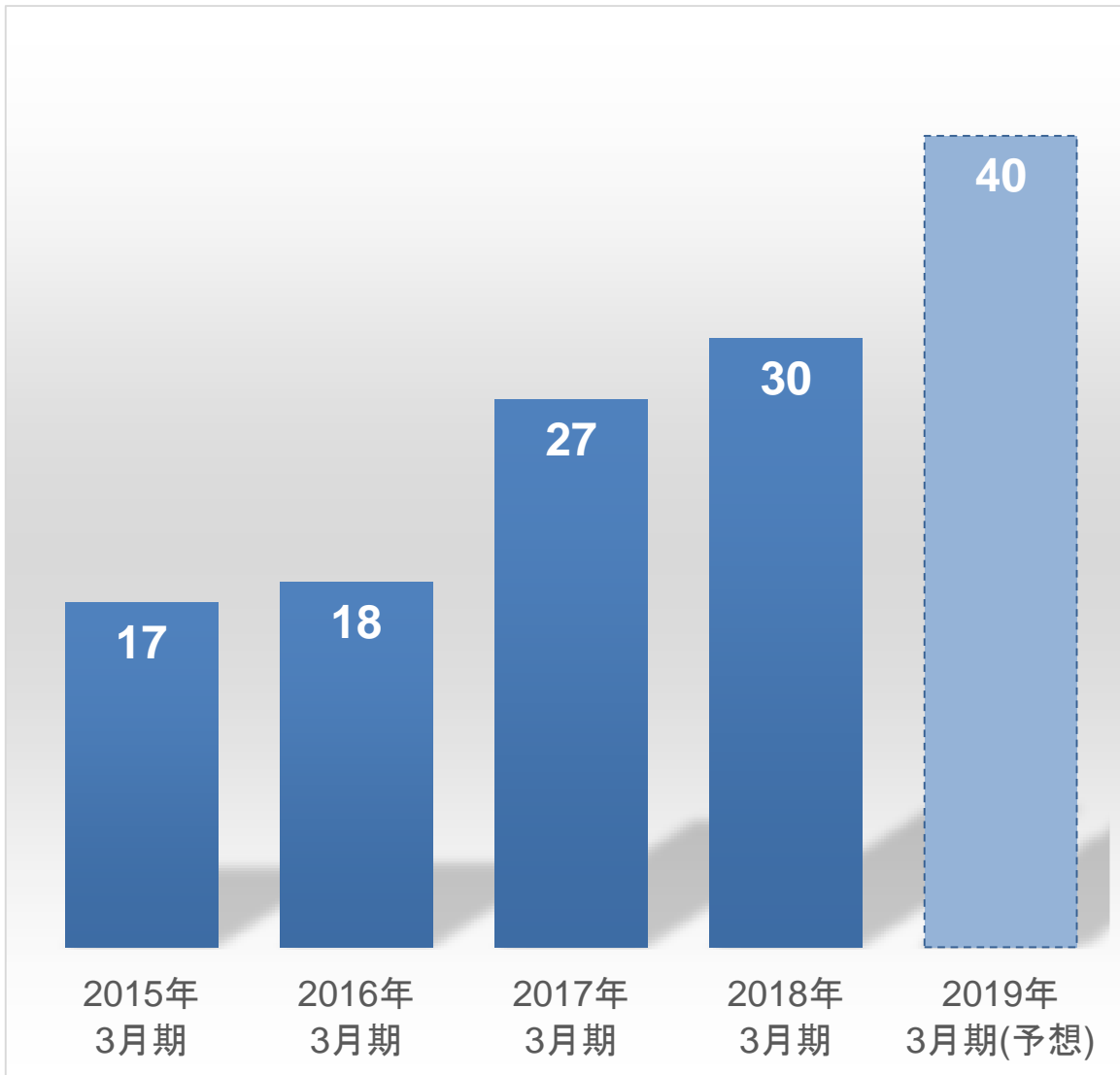
前年同期比 **45.7%増**

自動認識事業

前年同期比 **18.9%増**

■ 2015年 3月期 ■ 2016年 3月期 ■ 2017年 3月期 ■ 2018年 3月期 ■ 2019年 3月期

年間配当金



普通配当 30円
特別配当 10円
合計 40円

過去最高

個別実績

2019年3月期 個別業績



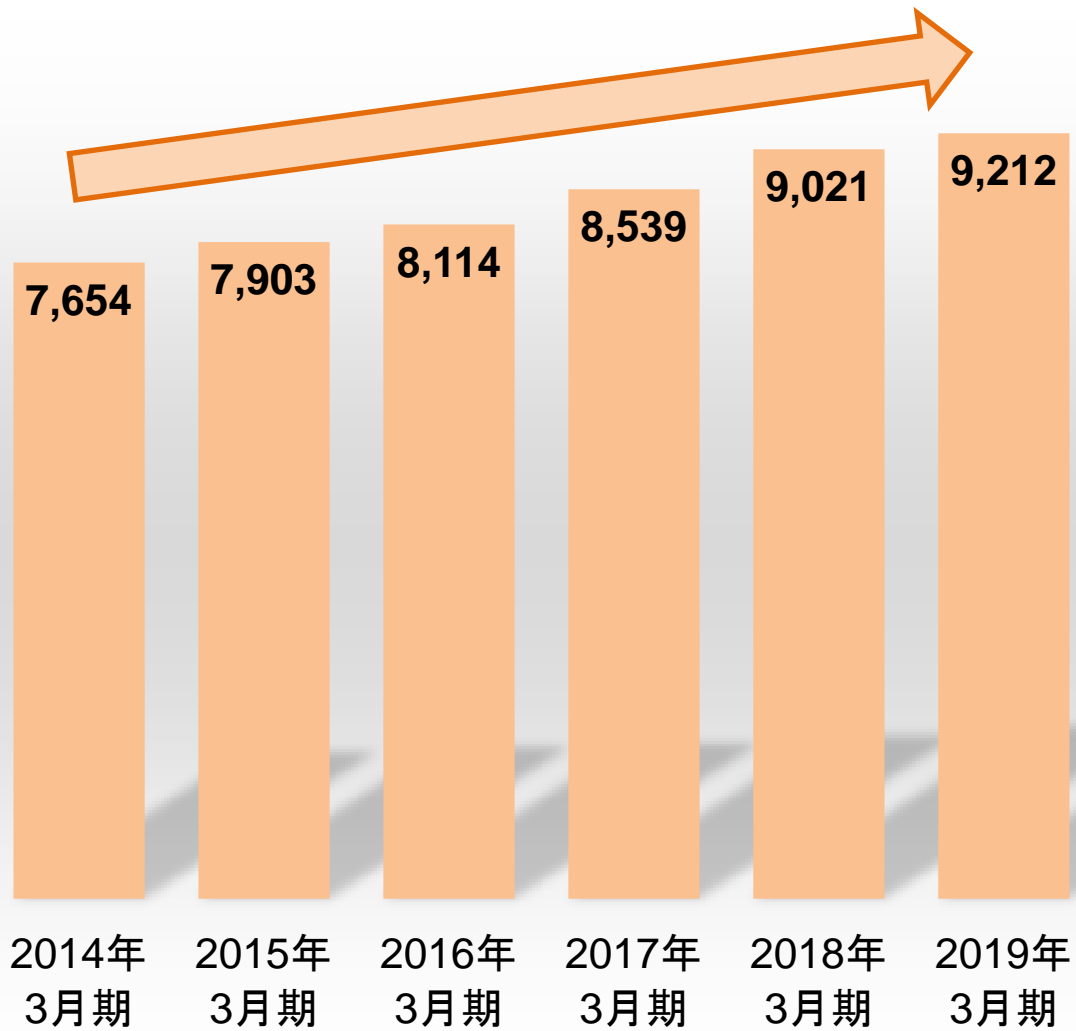
(単位:百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	前年比%	前年差
売上高	12,783	13,310	+4.1%	+526
営業利益	1,036	1,019	▲1.7%	▲17
営業利益率	8.1%	7.7%	-	▲0.4pt
税引前利益	1,333	1,726	+29.5%	+393
当期純利益	1,050	1,343	+27.9%	+293

・営業利益のマイナスの主な要因は、LCカラム製造工場の減価償却費および移設費用等の発生によるものです。

自社製品売上高推移

(単位:百万円)

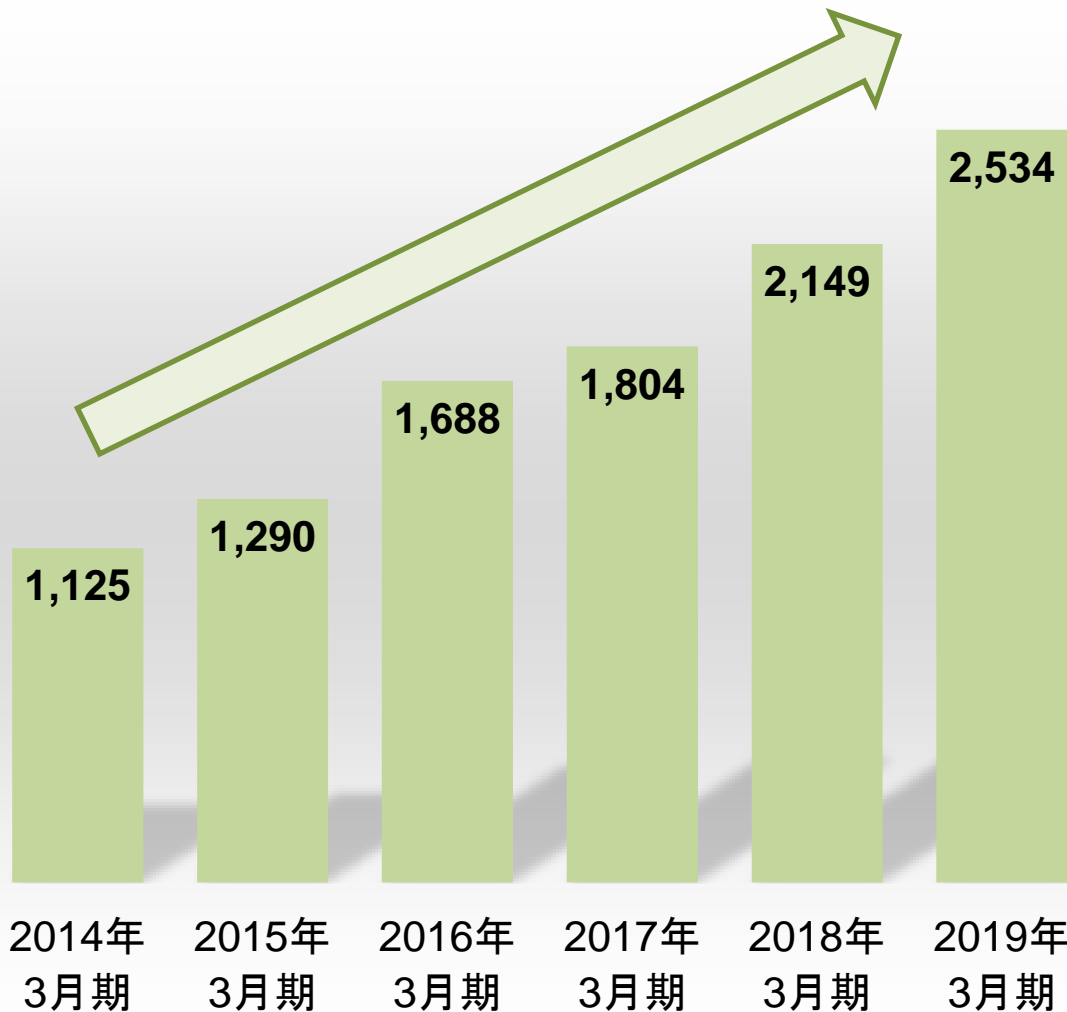


売上高
前年同期比 **2.1%増**

自社製品・他社商品
自社製品比率

69.2%

(単位:百万円)



売上高
前年同期比 **17.9%**増

海外売上高比率
19.0%

・各国でLCカラムの売上が伸びていますが、特に中国の伸びは依然として大きい。

2019年3月期のトピック

中国現地法人の設立



社名 技尔(上海)商貿有限公司

社名(英語) GL Sciences (Shanghai) Limited

所在地 上海市长宁区仙霞路317号远东国际广场B座2003室

電話 +81-21-62782272

代表者 法定代表人 長見善博(当社 取締役社長)

設立 2018年10月

資本金 3,500万円(日本円)

出資比率 ジーエルサイエンス株式会社 100%

営業開始 2019年3月

ホームページ <https://www.glsciences.com.cn/>

右のビルの20階

ビルの外観



LCカラム製造工場の竣工



施設名	ジーエルサイエンス株式会社 福島工場 西A棟
所在地	〒960-8201 福島県福島市岡島字宮沢前15-26
敷地面積	20,585.2m ²
延床面積	3,211.92m ²
構造	鉄骨造 平屋建て
投資総額	約20億円
主な用途	液体クロマトグラフ用充填剤・充填カラム、および固相抽出用充填剤の製造

2. 中期経営計画

(2019年3月期～2021年3月期)
(第52期) (第54期)

連結 中期経営計画

連結 経営目標



(単位: 百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期(計画)	2021年 3月期(計画)
連結 売上高	22,938	24,800	24,850	27,214
営業利益	2,418	2,988	2,480	2,722
営業利益率	10.5%	12.1%	10.0%	10.0%

個別 中期経営計画

2019年3月期-2021年3月期(52-54期) 中期経営計画目標

「持続的に発展し続ける仕組み作り」

存続し発展し続ける為に、下記の達成を目指す

- ①従業員(家族や株主)の幸せ (ES)
- ②お客様それぞれの課題解決 (CS)
- ③社会的責任(税金、雇用創出) (CSR)

「企業が存続し続ける」為には、「**持続的に利益が出る**」ことが重要
利益がなければ、いずれ会社は破綻します
そのため、「営業利益」にフォーカスした活動を展開して行きます
但しあくまでも当社の行動基準やコンプライアンスに則った活動の中で
適正に利益を出していきます

I .成長と収益力及び品質の向上

II . 海外戦略の推進

III .人材基盤の強化

IV .情報管理の充実・強化

V .グループ経営の強化

I .成長と収益力及び品質の向上

- I - 1.主力製品(コアビジネス)の強化
 - ・**世界一のカラムメーカー**を目指す施策
 - ・主力製品のさらなる開発

- I - 2.新たなコアビジネスの創出
 - ・新規市場や新規事業の探索
 - ・業務提携やM&Aの検討

- I - 3.事業の構造改革
 - ・業務改革
 - ・不採算事業の見直し検討

- I - 4.物流関連の整備
 - ・福島工場内の倉庫建設の検討
 - ・さらなる納期短縮に向けた取り組み

- I - 5.品質の向上

II. 海外戦略の推進

(単位:百万円)

II - 1. 海外の売上比率20%以上への挑戦

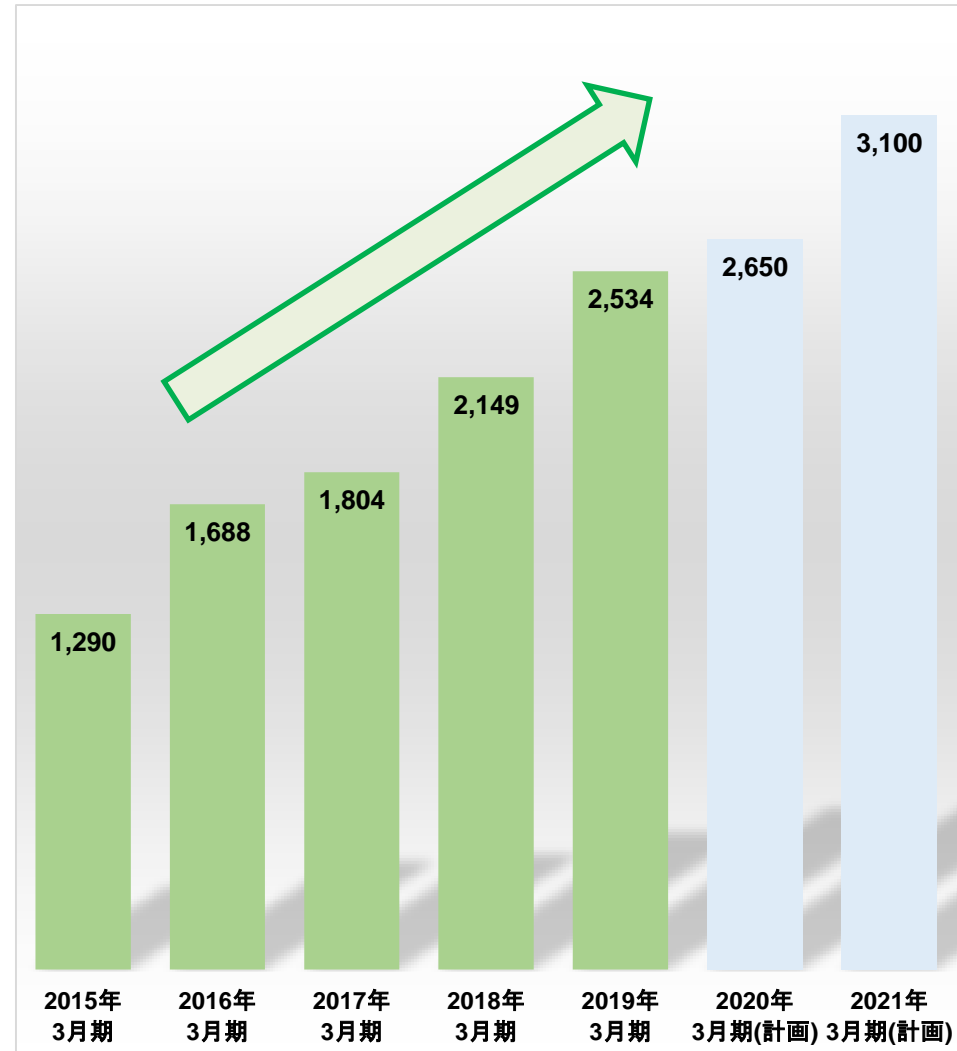
- ・中国(環境,食品市場)への注力
- ・インド(後発医薬品市場)の注力

II - 2. ASEANや新興国への展開準備

- ・ターゲット市場の調査・進出の検討
(ロシア、アフリカ市場の調査)
- ・現地企業の調査・提携の検討、
現地顧客との接触
- ・海外戦略課もしくはプロジェクトの検討

II - 3. 海外事業展開の再構築

- ・海外子会社への人的交流
- ・新規提携企業、子会社の検討



- Ⅲ - 1.ジョブローテーションの活性化
 - 次世代幹部社員の育成強化
 - 各階層別教育の見直しと実施
 - 若手のジョブローテーションの推進

- Ⅲ - 2.人財育成
 - グローバル人材の育成
 - 管理職のマネジメント力強化
 - 再雇用者への対応
 - 女性活躍推進

- Ⅲ - 3.健康経営への取組
 - 健康経営優良法人認定基準項目への取り組み検討
 - 健康管理制度の充実(フィジカル面)
 - 残業時間削減、有給休暇の取得促進

IV.情報管理の充実

- ・情報システムの全社統合化検討
- ・BCP対策の強化
- ・情報セキュリティー対応

V.グループ経営の強化

- ・経営資源の共有化、業務効率化
- ・グループの業務ツール、経営支援ツールの強化
- ・グローバル化に対応したグループ経営管理検討

經營目標

(単位:百万円)

		前中経 最終年度	現 中期経営計画		
		2018年 3月期(実績)	2019年 3月期(実績)	2020年 3月期(計画)	2021年 3月期(計画)
個別	売上高	12,783	13,310	13,800	14,500
	営業利益	1,036	1,019	1,214	1,450
	営業利益率	8.1%	7.7%	8.8%	10.0%

前中計最終年度 vs 現中計最終年度

- ・売上高 約17億円増加
- ・営業利益 約4億円増加
- ・営業利益率 1.9pt向上

キャッチコピー
Challenge 145
 (ちやれんじ いち・よん・ご)

⇒ 2年後の第54期で、売上高**145億円**
 営業利益**14.5億円**を目指す

3. 2020年3月期の取組 (第53期)

世界一のカラムメーカーを目指して

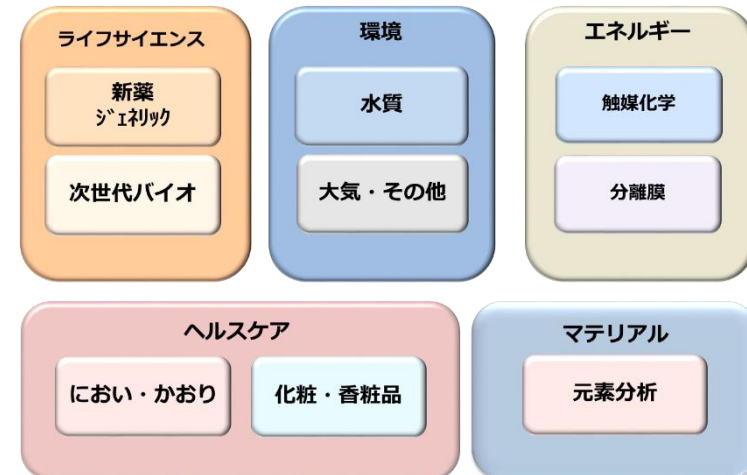


- ・生産能力、製造技術の向上
- ・製造効率による原価低減
- ・大量生産による品質の安定
- ・市場要求に対応したLCカラムの開発
- ・ラインナップの充実
- ・中国現法を拠点とした中国市場への展開
- ・インドを中心としたジェネリック市場へのアプローチ



市場へのアプローチ

- ・海外事務所のある、中国、米国、オランダ(EU)を拠点とした各国市場への更なる深耕
- ・アジア市場(韓国、中国)における環境ビジネスの新規参入
- ・ライフサイエンス、環境、エネルギー、ヘルスケア、マテリアルの各分野市場におけるマーケティング活動
- ・主要クロマトグラフィーの強化活動
(カラム関連、前処理関連、装置関連)
- ・休眠顧客の掘り起こし活動



2020年3月期 新製品

ガスクロマトグラフ GC 3210

GC-3200の後継機として新たに発売

TCD専用のガスクロマトグラフであり、
汎用性がある

周辺機器と組み合わせることで自動分析
にも対応



電気化学検出器 ED743

電気化学検出器は、酸化・還元しやすい化合物を選択的に高感度検出できる装置

ED743は、ジーエルサイエンスの電気化学検出器では5代目となる

使いやすさと感度を向上させたED743で、更なる日本国内のシェア拡大を狙う



プログラム昇温加熱分解システム MetaPREP AT2

MetaPREP AT2は、加熱温度が230℃と高く、硝酸、塩酸の他に沸点が高い硫酸を用いた分解が行えるシステム

DigiPREP システムと合わせて、酸分解市場の更なるシェア拡大を狙う



HPLC、LC/MS用カラムの新製品を市場に投入し、主力製品群の売り上げ拡大を狙う

InertSustain PFP

シリカゲルにペンタフルオロフェニル基を結合したカラムで
様々な相互作用が働き、立体構造の認識性能に優れている

MonoSelect nPEC

ナノ粒子と遊離している低分子化合物とを短時間で分離できるカラム
ナノメディシンの品質管理に向けたカラム



2020年3月期 個別計画

(単位:百万円)

項目	2019年 3月期	2020年 3月期(計画)	前年比	前年差
売上高	13,310	13,800	+3.7%	+490
営業利益	1,019	1,214	+19.1%	+195
営業利益率	7.7%	8.8%	-	+1.1%pt
税引前利益	1,726	1,304	▲ 24.4%	▲ 422
当期純利益	1,343	978	▲ 27.2%	▲ 365

社会的責任(CSR)

WWF(公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン)

WWF:世界100ヶ国以上で活動している地球環境保全団体

地球上の生物多様性を守ることと、人の暮らしが自然環境や野生生物に与えている負荷を小さくすることを柱に活動を展開

ジーエルサイエンスは、これからもWWFジャパンの活動支援を続けてまいります

あなたの「目線」で考える



ジーエルサイエンス株式会社